



第12回 遠軽IC道の駅検討協議会 議事概要

平成29年9月15日（金）午後6：00

遠軽町役場 3階 大会議室

1. 開会

● 座長 遠藤会長 挨拶

- ・ 今回の協議会の内容は、駅長候補者の選考についてと、前回から今回の協議会までに行われた部会等の報告についてが中心となる。
- ・ 駅長候補者については、前回までの協議会でスケジュールを前倒しして決定した方が良いという意見をいただき、スケジュールを早めて選考した。どれくらいの応募があるのか不安もあったが、蓋を開けてみれば22名の応募があり、7名の面接の後、1名の内定者が決定した。
- ・ 内定者については、書類・論文・面接の内容について、各面接官から高い評価を受けている。
- ・ 各種規程等の整備などで時間は掛かると思うが、できるだけ早く遠軽町に来ていただき、皆さんと一緒に起業推進していってもらうことが道の駅の成功に繋がると思うので、よろしく願いたい。

2. 話題

(1) 報告

● 遠軽IC道の駅長候補者選考結果について 【参考資料1】

(事務局説明)

- ・ 第1次選考（書類審査及び論文審査）で22名の応募があり、第2次選考（個人面接）で7名の候補者について面接（東京会場：1名、札幌会場：3名、遠軽会場：3名）を行った。
- ・ 内定者は岩手県在住の佐藤茂氏（58歳）。前職では、観光事業に係る施設・店舗の立ち上げ等を行う会社に勤務し、道の駅や農業公園、都市公園、遊園地、サービスエリアなどの立ち上げや運営、公募による指定管理も行っていた。これまでに全国26か所の農業公園、86店舗の自治体の観光施設などを手掛けてきた。
- ・ 評価されたポイントは、マーケティングや商品開発、コスト管理、人材教育など施設運営に必要なノウハウを有している、都市部での自治体の指定管理者としての実績、東北でのスキー場の管理運営にも精通している点などがある。
- ・ 駅長候補者の勤務先は遠軽町総務部地域拠点施設準備室であり、身分は観光協会の特別職員とし、報酬は月額35～50万円で、職歴や能力などを考慮する。金額については、報酬を負担する観光協会と十分な協議を行い適正な金額を設定する。
- ・ 任用期間は、任用開始日～平成31年11月30日を予定。できる限り早い段階で着任してもらうこととしている。
- ・ 任用にあたっては給与規程の整備を行い、駅長候補者の報酬について早急に決定する。12月の遠軽町議会には人件費分の補正予算の計上を予定しており、補正予算議決前に任用する場合には、観光協会の既定の予算の中で対応する。10月中には、観光協会の理事会の中で、予算の流用、給与規程の部分などの承認を得る必要がある。



- ・勤務場所は遠軽町役場になるため、観光協会と町との間で協定書を交わし、役場での勤務に支障がないように調整する。
- ・事務局としては、平成29年11月1日付けの任用を想定している。任用開始日までは、佐藤氏と連絡を取り合いながら、現在進行中の各部会の協議内容などの情報提供を行い、スムーズに業務にあたるようバックアップしていく。
- ・勤務日・時間等については、観光協会との協定書の中で明記したい。
- ・平成31年12月1日（予定）以降は、駅長として勤務する予定である。
- ・業務内容については、今後も協議していくが、道の駅の管理・運営を基本に決定することとし、駅長の報酬については、事務局と観光協会の中で協議し決定することでご了承いただきたい。

（座長）

- ・駅長候補者の選考について、何か質問、意見等はないか。

（委員）

- ・特になし。

（2）議題

● 遠軽IC道の駅実施設計図について 【資料1】

（事務局説明）

- ・今年度は、大型車庫、車庫裏の切土、車庫前の盛土、排水処理の整備を行う。来年度以降は、道の駅本体の施工と、ゲレンデ側の盛土、駐車場の整備と進めていく予定である。
- ・施設の外装について、黒く見える部分はガルバリウム鋼板、白く見える部分は木の羽目板を考えている。
- ・2階の窓について、一部大きさを変更している。
- ・1階エレベーター横に銀行ATMを設置予定であり、地元銀行からの要望に対応している。
- ・2階厨房・軽食コーナーの配置を変更しており、施設利用者の動線や階段からの印象に配慮している。
- ・施設の内装について、お客さんの目に触れる部分については、できるだけ木を使用し、温かな印象を与えたいと考えている。
- ・これらの計画について、今後も皆様や駅長候補者の意見を聞きながら進めていきたいと考えているので、よろしく願いしたい。

（座長）

- ・実施設計図について、何か質問、意見等はないか。

（委員）

- ・特になし。



- 遠軽IC道の駅整備スケジュールについて【資料2】
- 遠軽IC道の駅を考える会の経過について【資料3】

(事務局説明)

【遠軽IC道の駅整備のスケジュール(案)】

- ・スキー場の部分で、平成30年度から31年度にかけて、体験プログラムの設計・施工を追加しており、主に体験プログラムのハード面の整備に掛かる部分となっている。
- ・駅長の部分は、資料1で説明済みである。
- ・指定管理者の部分は、非公募による選定を前提に、議会の常任委員会などに説明を行っている。平成29年度中に何らかの形で内定及び公表を行いたい。

【平成29年度 遠軽IC道の駅整備のスケジュール(案)】

- ・委託・工事の部分は、大型車庫の建設工事と外構整備工事を進めている。今後は、倉庫の解体工事を進めていく予定である。
- ・検討協議会については、第13回を11月、第14回を2月に開催予定。考える会については、年度内に2~3回程度の開催を予定している。
- ・考える会については、【資料3】遠軽IC道の駅を考える会の経過に詳細を記載しているので、そちらを見ながら併せて説明する。第11回検討協議会(平成29年6月1日)以降の経過について報告するものである。

【産業・食部会】

- 6月15日に第4回、7月6日に視察研修、8月2日は第5回を開催し、それぞれの内容について報告。
- ・第4回ではテナントの募集や講演会・説明会を含めた、詳細なスケジュールの提案や、フラノマルシェへの視察の概要、出店・出品にあたっての基本ルールについて協議した。
- ・視察研修では出店・出品にあたっての参考とするため、様々な視点から地域の魅力を発信し、成功を収めているフラノマルシェへ部会から5人の参加者と共に、フラノマルシェを運営する、ふらのまちづくり(株)の西本社長の講演(演題「フラノマルシェと名物づくり」)を聞くとともに、フラノマルシェの施設を見学し、名物づくりの考え方や、出店・出品に向けた心構えを学んだ。
- ・第5回では7月に実施したフラノマルシェへの視察研修の概要について報告し、フードコーディネーターの招へいの経過について説明した。また、出店・出品にあたっての基本ルールについて、屋外飲食店の共益費の考え方について第4回で整理し切れなかった部分を精査し、方向性を決定した。
- ・今後は、当初12月からフードコート等のテナントの募集開始に向けて講演会と説明会を9~11月にかけて開催する予定だったが、駅長候補者が就任するにあたって、これまでの経歴から経営に長けた人物でもあり、駅長候補者の就任前に講演会と説明会をするよりも、駅長候補者を交えて基本ルールを再度見直し、募集時期をある程度遅らせた中で講演会・説明会を開催するスケジュールを考えている。仮に平成30年3月からのテナント等の募集であれば、講演会・説明会は、平成30年2月頃となることを想定しているが、駅長候補者との調整により前後する可能性がある。

**【体験部会】**

- 6月26日に第3回、7月26日に視察研修、8月30日に第4回を開催し、それぞれの内容について報告。
- ・ 第3回では主な体験プログラムに係る情報（集客人数・収支）を精査した資料（体験プログラム管理運営実績調査）やその他のアイデア（部会メンバー案）について確認した。また、実際にロックバレースキー場の現場を視察し、山頂には悪天候のため上れなかったが、緩斜面の部分を見学しながら、リフトに関連する体験プログラムをテーマに展望台の魅力づくりを中心に、具体的な協議を行った。
- ・ 視察研修では、見学や体験を通して各種プログラムの理解を深めるとともに、導入に向けての可能性の模索や、さらなるアイデアの創出を図ることを目的として、部会から5人の参加者と共に、さっぽろばんけいスキー場（ジップライン・ウォーキング）、羊ヶ丘展望台（展望台・足湯）、イーアス札幌（ボルダリング・子どもの遊び場）を訪問した。その3つの施設では、それぞれが運営する体験プログラムを実際に見学し、各施設の担当者の説明のもと、知識を深めるとともに、メリット・デメリット、現状の課題や今後の展望などについて学んだ。
- ・ 第4回では7月に実施した視察研修の概要について報告した中で、これまでの会議や視察研修を通して生まれた意見やアイデアをもとに、事務局において、豊かな自然を活かした「ジップライン」と「展望台」を柱とした屋外体験プログラムの構築について構想を提案し、承認を得た。
- ・ なお、資料の下段の体験プログラム構想の基本イメージ図については、第4回の検討協議会の際に提示したものであり、屋外・屋内・有料・無料と4つにブロック分けした中で、屋外では展望台とジップラインを柱として、ソリスベリとドッグランについても基本線としながら、屋内については天気の悪い日も考慮した体験プログラムとしてイベント時と通常時について、それぞれこれまでに生まれた意見やアイデアをもとに実現の可能性があるものを列挙している。その上でキーワードとして、ファミリー・安心・安全・手軽・手ぶら・写真・SNS・スリル・非日常・外国人という言葉を挙げ、屋外・屋内・有料・無料の分類をまたいで共有することで連動性を持たせ、配置を含めて効率的な誘導を目指し、まとめたものである。

【情報発信部会】

- 5月19日に第1回を開催。
- ・ 他の部会や駅長候補者募集の過密スケジュールの中で、なかなか第2回を開催できずにいるが、産業・食部会と体験部会の概要も固まってきた中で、駅長候補者も内定し、今後は駅長候補者を中心として、具体的な協議を進めていきたいと考えている。

（座長）

- ・ スケジュールと考える会の経過について、何か質問、意見等はないか。

（委員）

- ・ 特になし。

**● 遠軽IC道の駅出店・出品にあたっての基本ルール等について（案）【資料4】****（事務局説明）**

- ・スケジュールや考える会の経過についてでも触れた、出店・出品にあたっての基本ルール等についての概要について説明する。
- ・この基本ルールについては、今年の1月に開催した第9回検討協議会の際に委員の皆様にお見せしているが、それ以降に協議して詰めた内容を反映している。

【趣旨】

- ・遠軽IC道の駅整備にあたり、遠軽IC道の駅検討協議会で設定した「ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅」のコンセプトのもと、それを実現するため、このうち食の提供、野菜や物産等の販売における基本的なルールを定めた中で、詳細な募集要項を策定する。
- ・当基本ルールは道の駅開業時におけるルールであり、開業後の指定管理者による変更を妨げるものではない。

【共通事項】

- ・屋内、屋外に共通する考え方や心構えなどについて設定している。なお、⑦店舗の外観等は指定管理者の指導・助言のもと、一定の水準を満たすものであること。については、屋外店舗のみの事項としている。

【施設概要】

- ・④開業予定日については、これまでもスケジュール（案）で説明してきたとおり、平成31年12月プレオープン（平成31年度シーズンのスキー場営業開始時）、グランドオープンの時期は未定（遠軽IC開通時に合わせる）としている。

【募集概要】

- ・町内に本店事業所を有する法人または町内に住所を有する個人・団体を優先する。ただし、町内からの出店・出品希望がない場合や、一定レベル以上のもの（味やサービス等）を提供できないと判断した場合はこの限りでない、としている。
- ・フードコート・2階軽食コーナー・物産品販売店・農産物直売店・屋外飲食店に分けた中で、募集業種・区画数・応募受付期間・審査期間・決定・準備期間・入居についてそれぞれ記載している。
- ・募集業種は、地場あるいはオホーツク圏の素材を活用することを前提としたものとなっている。
- ・区画数については、フードコートが4区画で出店の業種によっては増減も考えられる。また2階軽食コーナーについては1区画、物産品販売店と農産物直売店については区画の定めはない。屋外飲食店については露店ブースを最大4区画としているが、4区画埋めるということではなく、屋内への出店が難しい業種（焼き鳥、貝焼きなど煙が出るもの等）のためのスペースとして、あくまで屋内のフードコートがメインであり、屋外はオプション的な位置付けと考えている。
- ・応募受付期間については、先ほどスケジュールの部分で触れたとおり、募集開始の時期が少々遅れるということで、影響のある部分について、抹消線で消しており、今後、駅長候補者との調整によって変わる部分である。

**【確認事項】**

- ・ 営業にあたっての必要事項として5つの項目について確認。
- ・ 物産品販売店及び農産物直売店については、指定管理者の委託契約販売となることから、一部項目を除外している。

【契約概要】

- ・ 賃貸借料について、フードコートと2階軽食コーナーについては2,000円/㎡、屋外飲食店についてはスペースが屋外ということで、屋内の半額の1,000円/㎡という単価で計算したものとなり、部会においても承認いただいている。
- ・ 手数料については、フードコートと2階軽食コーナーは原則ないものとし、町外事業者の場合のみ、売上額の10%を徴収するというので、町内事業者優遇している。また、物産品販売店及び農産物直売店については委託販売手数料という形で売上額の20%としている。
- ・ 直接費については、フードコート、2階軽食コーナー、屋外飲食店ともにそれぞれにメーターをつけた中で、実費がかかることとしている。ただし、2階軽食コーナーと屋外飲食店にはガスの取出しはつかないものとしている。
- ・ 共益費について、当初は屋内・屋外と共通して1,000円/㎡としていたが、部会での協議において屋外飲食店は屋内の電気を使用しない点、暖房についても自己負担という点などの指摘を受け、トイレの清掃委託料のみを対象とし、屋外飲食店は250円/㎡として20㎡で5,000円としている。
- ・ 敷金については、フードコートのみ賃貸借料の3か月分とする。屋外飲食店は、出店取消時違約金のみとする。
- ・ 店舗の造作費及び設備費について、フードコートの電気・ガス・給排水の取出は施設側で整備するが厨房機器や看板等の設備に掛かる費用は各自での負担とする。また、軽食コーナーの厨房機器は、施設側で準備することとする。なお、屋外飲食店は、電気・給排水の取出は施設側で整備するが、厨房機器や建物は各自負担となる。
- ・ 屋外飲食店について、建物は道の駅の外観を損なわないものとするを前提とする。

【応募書類】

- ・ 今後、応募書類の様式を作成し、それぞれ該当するものを応募の際に提出いただくことを想定している。一部※のある部分につきましては、町外事業者のみの提出とする。

【選定結果の通知及び出店者の公表】

- ・ 応募者から提出された書類による書類審査、面接審査、プレゼンテーションによって、営業方針、営業実績、採算性等を総合的に審査しまして、選定結果は応募者に通知するとともに、基本的には選定された出店・出品者名を町ホームページで公表するように考えている。なお、審査の内容に関する問合せには回答しないこととしている。

【選定の取り消し】

- ・ 次のいずれかに該当すると認められる場合は、当該出店・出品者の選定を取り消すこととして、①応募書類の内容に虚偽の記載があった場合、②応募者の参加資格を満たさなくなった場合、③その他、出店・出品者として不適格な事項が認められた場合、としている。



【講演会・説明会】

- ・遠軽IC道の駅の出店・出品者の募集開始に先がけ、平成31年度のオープン(予定)に向けて、道の駅の大きな魅力となる「飲食」「物販」「直売」の部門への参画に向けた講演会及び説明会の開催概要となっている
- ・当初、平成29年9～11月頃の開催を予定していたが、平成30年2月頃の開催の方向としている。ただし、駅長候補者や産業・食部会との協議がスムーズに進めば、それよりも早い段階で開催できる可能性もある。
- ・会場についてはホテルサンシャインを想定しており、参加費は無料として、道の駅への出店・出品や遠軽の未来に関して少しでも興味のある方を対象と考えている。
- ・第1部、第2部と分けた2部構成とし、第1部を「講演会」として、フードコーディネーターの講演を予定しており、町内外の方に広く参加いただくため、申込み不要とした中で集客を図りたいと考えている。また、第2部を「説明会」として、出店・出品に興味のある方を対象に参加者を募り、遠軽IC道の駅整備のスケジュール(建物、高規格道路IC完成に合わせてグランドオープン、テナント等の募集・審査・決定の流れ)や出店・出品にあたっての基本ルール等(フードコートのブースの数、賃貸借料、共益費、手数料等の契約条件など)について、事務局より説明する予定をしている。
- ・周知方法については、別途チラシを作成の上、町広報誌への折込やポスター掲示、町HPへの掲載等で周知を図り、電話・FAX・メールにより参加申込みいただくことを想定している。
- ・フードコーディネーターについては、かねてより主に飲食の部分において外部からの視点でアドバイスをいただく人材を探していた中で、富良野商工会議所からの推薦もあって、レストラン ブラッスリー コロン ウィズ ル・クルーゼ(札幌市)のメインシェフである塚田宏幸氏に協力を依頼している。塚田氏はフラノマルシェの立ち上げに深く関わり、道内各地の生産者と交流を深めながら、地域の食文化の未来を探求し続け、食材の産地について深く知り、それを広く伝えることで生産者と消費者をつなぐことを目指す「北海道の食の伝道師」であり、「ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅」のコンセプトのもと、「つながり」をテーマとする当道の駅において、適任であると判断した。
- ・7月にはUHB「みんなのテレビ」内のコーナー「未来に伝えたい キセキの北海道めし」において、遠軽町でロケを実施し、塚田氏が「ばたばた焼き」をアレンジした「ばたばた巻き」を生み出した様子がテレビで放映されたということで、偶然の縁があることもお知らせする。
- ・講演会の実施に向けた事前調査訪問として、9月7～8日に来町した。町内の各施設や観光名所を知ってもらうとともに、町内で活躍する生産者との対話を通じて、外から見た遠軽町の魅力や、フラノマルシェの立ち上げに関わった経験を踏まえた出店・出品にあたっての心構え、食材の新たな活用方法などを見出し、それらを講演会で参加者に伝えることで、出店・出品への後押しとなることを期待している。
- ・平成29年度については、講演会の講師として協力いただき、平成30年度以降については、出店者の決定後から、商品の磨き上げの部分でお手伝いいただくアドバイザーとしての位置づけを検討している。アドバイスを希望する出店者に対して、対話を通じて助言をいただきながら、改良を重ねて商



品価値を高めていくような関係性も視野に入れて、所属事務所と協議をしている。

(座長) 出店・出品にあたっての基本ルール等と、全体を通して何か質問、意見等はないか。

(委員) これまでの資料はあくまでも流れ的なものであり、ひとり歩きしないように、駅長候補者を含めて協議を進めて欲しい。

(座長) 11月1日に任用することが決まり、駅長候補者を含めて、話を進めていきたい。

(委員) 3つの部会で、こういった意見が出て、ここまでまとまったのかが見えてこないのので、経過についても今後は教えて欲しい。住民の意見がこういったものがあるのか、見せてもらえるとありがたい。

(事務局) すべて議事録があるので、主な意見について次回お見せしたい。

(委員) 駅長候補者の任用開始日が、11月1日ということだが、準備などでそれより早く遠軽に入ってくることはないのか。

(事務局) 住宅についてはすでに探している状況である。また、車を持参する予定ということもあり、任用開始日より前に来る可能性もある。

(委員) 資料などのデータは事前には送るとは思うが、1日でも早くメンバーと会って、意思の疎通ができるとスムーズにいくと思う。

3. 閉会

(座長)

- ・ 駅長候補者については11月1日任用ということで、非常に経験豊かな良い人材を確保できたと思う。
- ・ 今後は駅長候補者を中心に色々検討していくこととなるが、この地域についてあまり詳しくなく、今までの経緯も分からない部分もあると思うので、観光協会はもちろん、町、商工会議所、商工会、フォーレストパークなどを含めてチームを組む形で、駅長候補者をしっかり支えていきたい。

(配布資料)

参考資料1 遠軽IC道の駅長候補者選考結果

資料1 遠軽IC道の駅実施設計図

資料2 遠軽IC道の駅整備スケジュール(案)

資料3 遠軽IC道の駅を考える会の経過

資料4 遠軽IC道の駅出店・出品にあたっての基本ルール等(案)